

# 電子お薬手帳サービス統合

## 業界標準の普及目指す

### 日薬、ドコモなど合意

日本薬剤師会とSTNet、NTTドコモの3者は3月26日、電子お薬手帳サービスの統合に向けた基本合意書を締結した。STNetが提供する薬局・医療機関向けの電子お薬手帳情報管理サービス「健康の庫(けんこうのくら)」と、NTTドコモのお薬手帳データ管理サービス「電子お薬手帳Link」を統合し、新たに日本薬剤師会の「日薬eお薬手帳」への導入を検討。2019年下期からの提供を目指す。

STNetは、15年6月にチェーン薬局向けにカスタム大阪府薬剤師会の「大阪eお薬手帳」と日薬の「日薬eお薬手帳」と連携した患者向けのお薬手帳情報バックアップサービス「薬局・医療機関向けのお薬手帳情報参照サービス」の提供。また、「健康の庫」を提供。また、レセコンや地域医療情報連動ネットワークとの連携機能も提供し、全国約4000施設に導入されている。NTTドコモは12年4月

## 「ビバンセ」で留意事項通知 適正な流通管理など要請

### 厚労省

厚生労働省は3月26日、同日付で承認された塩野義製薬の注意欠陥多動性障害(ADHD)治療薬「リスデキサン」の製造販売業者に対し、製造販売業者が製造販売の管理に当たって必要な措置を講ずることを求めている。

「ビバンセ」は、覚醒剤原料に指定されていることから、承認条件として、薬物依存などのリスクを十分に管理できる医療機関・薬局のみが取り扱うよう製造販売に当たって必要な措置を講ずることを求めている。具体的には、製造販売業者に対し、厚労省が昨年示した流通管理システムに従い、薬剤師、医師、医療機関、患者の登録を核とした適正な流通管理を実施することを義務づけた。

システマに登録した医療者が流通管理を逸脱する行為を行った場合、登録取り消しなどの措置を受ける。また、流通管理の確保を促すため、流通管理の確保が不十分であると認められた場合、流通管理登録を拒むか、流通管理登録を停止するなどの措置を講じた危険ドラッグについては、街頭店舗を全て閉鎖させることができたものの、SNS等を介しての販売など、流通形態が巧妙化・潜在化しているのが現状である。

そのうち、新たに策定された18年度計画では、これまででも取り組んできた「啓発活動の拡大と充実」「指導・取り締まりの強化」「薬物問題を抱える人への支援」という三つの柱のもとに、九つのプラン、23のアクション、91の取り組みを設定。関係機関の連携により、薬物乱用対策を一層推進する。

計画期間は、19年度から23年度までの5年間。概要および本文は都福祉保健局のホームページに掲載されている。

### 薬乱対策で18年度計画

#### 巧妙化等で現計画見直し

東京都の薬物乱用対策推進本部(本部長・多羅尾光晴副知事)は、このほど、2018年度版の「東京都薬物乱用対策推進計画」を策定し、危険ドラッグ販売の巧妙化などを背景に現行計画を見直したもので、今後、同計画に基づき薬物乱用の根絶に向けた総合的な対策を推進していく。

都内の薬物事犯の検挙人員は2000人を超えており、近年増加している大麻事犯では若い世代の乱用拡大が問題となっている。また、流通管理の確保を促すため、流通管理の確保が不十分であると認められた場合、流通管理登録を拒むか、流通管理登録を停止するなどの措置を講じた危険ドラッグについては、街頭店舗を全て閉鎖させることができたものの、SNS等を介しての販売など、流通形態が巧妙化・潜在化しているのが現状である。

そのうち、新たに策定された18年度計画では、これまででも取り組んできた「啓発活動の拡大と充実」「指導・取り締まりの強化」「薬物問題を抱える人への支援」という三つの柱のもとに、九つのプラン、23のアクション、91の取り組みを設定。関係機関の連携により、薬物乱用対策を一層推進する。

## 新刊

人間誰しも元気でいたい、健康になりたい、病気になるたくないと思つた。病気になるためには、病気にならない体、なりにくい体を作るのが最も大切になる。病気になる、ほとんどの人たちが



### 元気が一番

なにはともあれ、脳・心・からだ・くすりのお話

原英彰(岐阜薬科大学副学長) 編著  
土屋照雄(岐阜県薬剤師会会長) 監修

薬を飲むことになるが、これほど人たちが薬のことを知っているのだろうか。患者が医師から処方された薬は、薬局で調剤してもらい、薬剤師から説明を受けて受け取る。しかし、あまりに初歩的なことで聞きにくいとか、実際に薬剤師を前にすると聞くことを忘れてしまつてもう人も少なくない。また、若い人は薬を飲む機会がほとんどなく、薬についての知識をなかなか得にくいのが現状だ。

そこで、編著者である原氏は、岐阜県大薬効解析学研究室に在籍する学生と共同で本書を企画した。本書は、誰でも手に

とって読みやすく分かりやすい、薬と健康に関する書籍を目的に制作された。薬に関するいろいろな疑問、薬を飲む上で知ってほしいことなどが対話方式でまとめられて

病気の話題▽目の話題▽豊かに生きるには▽の4章立てで、4人の一般人たちを登場させ、原氏に率直に数多くの素朴な疑問をぶつけ、回答を迫っている。

超高齢社会の現在、誰もが避けられない病気と共に、多くの人が「元気で幸せに、心豊かに人生を送れるように」と書かれた、極めて具体的に平易な納得の指図書といえる。

A5判、207ページ。価格は1500円(税別) (発売はアンデパンダン:03-69007-1000) E-mail: books@idpd.co.jp URL: http://www.idpd.co.jp/

### 健康関連産業の製品創出 マッチングサイト運用開始

大阪府は、今月から健康関連産業分野で企業ニーズと大学のシーズをマッチングさせ、新たな製品・サービスを生み出す自立的プラットフォーム「HBNet」(エイチビー)の運用を開始する。これに先駆け「HBNet」(https://hbn.net)を立ち上げ、会員登録を開始している。

登録の対象は、▽大阪府内に本社、工場、研究所、事業所を有するか、設置を予定している企業▽大学、国立の研究機関、社団法人または財団法人に属する研究機関、大学発ベンチャー▽金融機関、ベンチャーキャピタルなど。

HBNetは、企業や大学・研究機関等がそれぞれ独自のニーズやシーズをウェブサイトに登録することで、お互いに関心やマッチングの提案を行うことが可能。会員制のプラットフォーム。専門的な知見、ノウハウを持つ支援事業者によるマッチングコーディネートも行っている。マッチングが成立した案件は、事業化まで一気通貫でサポートする。

プラットフォームを通じて、案件の事業化に向けては、北大阪健康医療都市・健康・栄養研究所の支援事業になる予定という。

同事業は2017年度からの3カ年事業として取り組んでいる。現在、成長が有望視されている府内の健康関連産業企業のニーズと、関西を中心とした全国の大学・研究機関等の技術シーズを結びつける。製品は公的保険外サービスを対象とし、健康食品からバイタルデータのIoT活用なども視野に入れる。企業、大学・研究機関の会費は原則無料。

## 弱ってきた胃の働きを取り戻していく

# キャベジンα

効能/胃痛、もたれ、むかつき、飲み過ぎ、食べ過ぎ 第2類医薬品



### Kowa 興和株式会社

製品のお問合せ:興和(株)お客様相談センター(Tel.03-3279-7755 受付時間9:00~17:00土・日・祝日は除く)

詳しくは

